書式１

【提案書提出先】 KOUBO-ISAS@ml.isas.jaxa.jp

2025年度　宇宙環境利用専門委員会

フロントローディング研究

実施計画書

（提出日：　　月　　日）

□新規　　□継続

□微小重力実験施設の利用あり

（該当する項目をチェックして下さい）

●課題名：

(英名)：

●提案者

所属：

：

住所：

電話番号：

E-mail：

携帯：

●内諾を得たISAS側の共同研究契約担当教育職々員

氏名：

所属・職位：

【注】 提案者の所属、連絡先等の情報については、個人情報の保護に関する法律の趣旨に則るJAXAが定める規定に従って適切に管理・保管・廃棄等を行います。

*１ページ以内で書いて下さい*

**【研究課題名】**

**（和文）**

**（英文）**

**【概要】**

**（和文）**

**（英文）**

*特にページ制限は設けません*

*車体赤字は削除して下さい*

（１） 研究の背景と目的

① 研究の背景と目的

*フロントローディング研究の実施につながる**研究の背景と目的を学会等が示している工程表のどの部分にあたるのか明確にわかるように記載して下さい。*

② 現在採択されている宇宙実験の目的・内容の違い

*現在JAXAで採択され検討・研究開発が進んでいる宇宙実験（「きぼう」利用**フラグシップミッション採択テーマ含む）のPIまたは共同研究者が本提案に応募する場合は、本提案の目的・内容と現在採択されている宇宙実験の目的・内容の違いを具体的に明記して下さい。*

（２） 目標とする宇宙ミッション提案とその実現性

*小規模計画、「きぼう」利用フラグシップミッション等への具体的なゴールとなる宇宙ミッション提案とその実現性を記載して下さい。*

（３） ミッション提案に向けて解決すべき課題とサクセスクライテリア（成功判断基準）

*ミッション提案に向けてネックとなっている課題やキーとなる技術的課題等とその解決方法とサクセスクライテリア（成功判断基準）を記載して下さい。また、評価により予算が大幅に減額され、微小重力実験施設を使用できなくなることが考えられます。その場合を想定して翌年度の施設利用を目指すミニマムサクセス（最低限の達成基準）も記載して下さい。*

（４） 研究チーム構成

① 選定根拠： *求められる研究・開発スキル、成果創出の実績などを考慮して下さい。*

② チームメンバー： *作業分担を明確にし、チームメンバーについては必ず内諾を得て下さい。ISAS教育職々員を1名以上共同研究者に加え、その際も事前に当該職員の内諾を得て下さい。*

（５） 予算実施計画

① 実施期間： *開始・終了時期（開始年度より3年を超えない）を記載して下さい。*

② 実施計画： *2025 年度を含む全体計画を記載して下さい。*

③ 2025 年度予算計画： *微小重力実験施設を使用する場合は、施設使用に関連する費用（A）とそれ以外の費用（B）に分けて記載して下さい。微小重力実験施設を使用しない場合は、（B）のみを記載して下さい。合計で間接経費を含み約2000万円を上限として採択を行います。*

（A）　微小重力実験にかかる経費

*微小重力実験施設の使用料とそれに関わる設備備品費、消耗品費、旅費、輸送費など*

（B）　微小重力実験の有無によらない経費

*設備備品費、消耗品費、旅費など*

*※ 微小重力実験施設の使用料については、具体的で確度の高い見積もりを取り、契約時に金額が不足しないように十分に注意して下さい。*

（６） 進捗状況（継続課題の場合）

*継続課題については、前年度からの進捗状況を具体的に記載して下さい。*

以 上